

2022
01
winter
VOL.27

大崎市民病院広報誌

TAKE FREE

ご自由にお取りください

つながり

“切れ目ない支援”のための連携・調整窓口
患者サポートセンター 地域医療連携室



リハビリテーション部の皆さん



特集 “切れ目ない支援”の ための連携・調整窓口 患者サポートセンター 地域医療連携室

大崎市民病院には
 患者さんの心配や不安に応える
 専門の窓口があります。
 地域のかかりつけ医と連携し、
 チーム医療で患者さんを
 支えます。

大崎市民病院があるから
 安心と言って
 いただけるように

大崎市民病院では、患者さんが住み慣れた地域の中で、医療機関などがその特徴を活かしながら役割分担をし、健康管理から病気の診断、治療・療養を経て社会復帰までを一貫してサポートする地域完結型医療の構築に取り組んでいます。

本院は救命救急やがん治療、周産期医療などの高度で専門的な診療や検査を提供できる県北地域の基幹病院として、各分院と診療所は日常診療やリハビリテーションを担うかかりつけ医として、そして健康管理センターは疾病の予防や早期発見を担っています。

どんな不安や思いも
 チーム医療で寄り添い、
 支え、つなげる

医師が患者さんやご家族に病状やこれからの治療などについて説明すると、患者さんからは治療中の病气やけがのことだけではなく高齢の両親の世話や、今後の仕事のことなど、生活をしていく上で欠かせないものに対して多くの不安が聞かれます。

地域医療連携室では、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー（社会福祉士）（※）、薬剤師、管理栄養士、臨床心理士などが、院内の職種を越えて、それぞれの技術・知識・経験を結集し、患者さんを支えるチーム医療を日々推進し、患者さんの心配事を解消するためのサポートを行います。
 このような取組を地域のサービスに適切につなげることで、患者さんやご家族の意向に沿った治療が受けられる環境をつくります。



本院と分院に設置している患者サポートセンター―地域医療連携室は、治療を受けている間もその後もその人らしい生活を送れるように、地域の医療機関はもとより、福祉サービスの事業所や行政機関などと連携し、患者さんへの支援や地域で支える仕組みづくりを行う窓口になっています。

【用語説明】
 ※医療ソーシャルワーカーとは…
 主に病院において『疾病を有する患者さん等が、地域や家庭において自立した生活を送ることができるよう、社会福祉の立場から、患者さんやご家族の抱える心理的・社会的な問題の解決・調整を援助し、社会復帰の促進を図る』専門職です。当院の医療ソーシャルワーカーは全員、社会福祉士の国家資格を有しています。

大崎市民病院1階 患者サポートセンター 案内図



住み慣れた地域で患者さんが 自分らしい生活続けながら 治療を受けられるように 患者サポートセンター 地域医療連携室の取組

患者さんやご家族のさまざまな
相談に対応する窓口があります



「外来でも入院中でも」
何でも相談できる窓口

地域医療連携室は、治療や生活に
関するさまざまな相談に対応して
いるワンストップ相談窓口です。「病
気への不安」、「入院・転院への不安」、
「がんに関連すること」などの【医療

の相談】のほか、「医療費の心配」、
「社会保障制度」、「仕事と治療の両
立」などの【生活・福祉の相談】につ
いて、お悩みや困りごとがありまし
たら、まずは地域医療連携室にご相
談ください。看護師や医療ソーシャル
ワーカーなどの専門職が、患者さ
んやご家族と一緒に考え、自分らし

い生活続けられるようにお手伝
いします。

不安の大きい「入院」は
その前からサポートします

入院が決まった患者さんを対象
にプライバシーに配慮した個室の
面談室で、入院から退院までの治療
や療養生活について説明（一部診療
科を除く）を行っています。

日常の生活の様子や利用されて
いる福祉制度、処方薬や食物アレルギー

「退院」に際しての課題や問題
は早期に検討・調整します

入院後すぐに、患者さんやご家族
と病状や治療方針に沿って退院に
向けて話し合い、患者さんが退院後
に安心して地域で療養や生活を継
続できるように、医師と退院調整
看護師（※）や医療ソーシャルワ
ーカー、病棟看護師（必要に応じて薬
剤師・リハビリスタッフなど）が、退
院に向けた問題点や課題などにつ
いて話し合いを行います。

さらに、必要に応じて退院・転院
後の療養生活を担う医療機関など
への連絡や調整、介護や障害福祉
サービスなどを利用するための支
援を行います。

【用語説明】

※退院調整看護師とは…

患者さんが自分の病状や障害を理
解し、退院後も継続が必要な医療や
看護を受けながらどこで療養する
か、どのような生活を送るかを自己
決定するための支援や、患者さん・
ご家族の意向を踏まえて社会保障
制度や社会資源につなぐマネジメント
などを行う看護師です。

スムーズな診療と地域の医療を支える
仕組みづくりに努めています



原則紹介予約制について



医療がつながる仕組みづくり

本院地域医療連携室を中心に患
者サポートセンターでは、地域の医
療機関との役割分担を推進する取
組を行っています。

具体的には、医師会や歯科医師会、
行政や地域包括支援センターなど
と情報交換や研修の機会を設け、顔
の見える関係を意識しながら、地域
全体の医療の質向上と発展に努め
ることで、地域住民が必要な医療を
受け、安心して生活が続けられる仕
組みづくりに努めています。

○原則紹介予約制

紹介予約制とは、本院の受診が必
要な患者さんを「かかりつけ医」の
先生から紹介いただき、予約制で受
診していただく仕組みです。普段、
医療機関にからない方も、日頃か
ら健康に関する相談ができ、身近で
頼りになる地域のかかりつけ医療

ギーなどの確認を行い、安心して治
療に専念できる環境づくりを行いま
す。

入院に関する事務手続きなどは
事務職員、入院生活に関することは
看護師、薬に関することは薬剤師が
対応しています。また、必要に応じ
て、食物アレルギーをお持ちの患者
さんなどは管理栄養士、医療費や制
度申請についての説明が必要な患
者さんなどは医療ソーシャルワー
カーが対応しています。

機関をお持ちください。

また、本院では、検診で「再検査・要
医療」の判定となった方に対し、検診
結果票を紹介状の替わりとして、受
診予約を受け付けています。

○専用ダイヤル

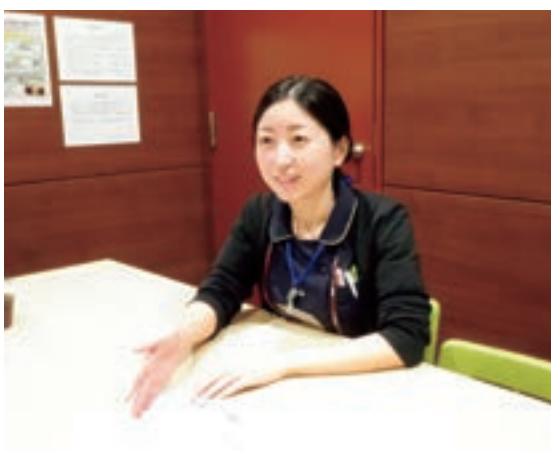
紹介状をお持ちの方を対象に専
用ダイヤルを設置し、スムーズな予
約案内に努めています。

また、地域の医療機関の先生から
の急を要する受診や入院などを受
け入れるため緊急ダイヤルを整備
し、スムーズな受入れに努めており
ます。

限られた入院のベッドを
必要な方に提供できるように

本院での治療を必要とする患者
さんに対してスムーズに入院・治療
ができるよう、院内はもちろん、地
域の医療機関、施設などの方々と情
報や運用を共有し、効果的なベッド
コントロールに努めています。

また、救急患者の円滑な受入れの
ために日頃から受入状況の振り返り
や消防本部との意見交換も行って
います。



専門・認定看護師による がん相談会

当院がんサロンにおいて、がん関連の専門・認定看護師によるがん相談会を実施しています。

当院がかかりつけでなくても、がんに関する疑問や不安をお持ちの方であれば、患者さん、ご家族、どなたでもご利用頂けます。

開催日 毎週月曜日
※第五月曜日・祝日を除く

時間 10:00～14:00

申込
不要

1回
20～30分

相談料
無料

当日直接がんサロンに来室し、「がん相談会に来ました」とお声がけください。日時は急きょ変更となる可能性がありますので、ご了承ください。不明な点は、がんサロンまでお尋ねください。

がん相談支援センター



がんサロン

交流会や勉強会も開催しております。本や冊子も充実!!

今号の表紙



市民病院リハビリテーション部
主任 言語聴覚士
菅原 香奈

リハビリテーションには理学療法、作業療法、言語聴覚療法の3つの専門分野があります。『理学療法』は、主に起きる・座る・立つ・歩くなどの基本動作能力の改善を目標に行っており、『作業療法』は、食事や着替え、排せつなど日常生活の動作練習を中心に、家事や仕事、趣味活動などその方にとって大切な活動に取り組んでいます。また、『言語聴覚療法』は、話す・聞くなどのコミュニケーション能力や、食べる・飲み込む機能の他、記憶力や判断力、集中力などの改善を目標に行っています。本院と各分院(鳴子温泉分院・岩出山分院・鹿島台分院)のそれぞれに理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が配置されています。

本院は、急性期のリハビリテーションを担っており、病気の発症や術

後の不安定な時期から厳重なリスク管理の下、身体を起こす練習や安全に食べるための準備を進めています。また、急性心筋梗塞、心不全、心臓手術などを対象とした心臓リハビリテーションや、慢性閉塞性肺疾患(COPD)などの呼吸リハビリテーションにも力を入れています。

各分院では、急性期の治療を終えた患者さんに対して、安心して在宅生活に戻れるよう運動機能や生活動作の改善を図っています。また、退院に向けて環境調整や家族指導、社会サービスの調整などを実施しています。

本院・各分院共に、医師や看護師、そのほか、さまざまな職種が連携を図りながら、患者さんが一日も早く回復し在宅生活や社会生活が送れるよう支援しています。

Certified Nurse

大崎市民病院 認定看護師紹介

認定看護師とは、5年以上の実務経験があり、特定の看護分野において熟練した知識・技術を持つ看護師として、日本看護協会による審査に合格した看護師です。院内で指導的役割を果たしています。当院には12名の認定看護師が、11分野で活動しています。



皮膚・排泄ケア認定看護師：細谷 裕子

皮 膚排泄ケア領域では主に院内の褥瘡(床ずれ)や人工肛門の患者さんに対応しています。褥瘡を発症した方は悪化しないケアを、人工肛門を造設された方はセルフケアが確立されることを目標に取り組んでいます。今後は、地域との連携に取り組んでいきたいと考えています。



感染管理認定看護師：佐藤 明子

感 染管理は患者さんとその家族、院内で働くすべての職員、地域を感染から守ることを目標にしています。院内の感染発生状況のモニタリング、医療行為におけるプロセスの確認やデータ収集、分析、評価、効果的な感染対策が継続して行われるよう改善、教育、啓発活動を組織横断的に行っています。



集中ケア認定看護師：鈴木 昭子

誰 もが集中治療を受ける状況を想像したりはしないでしょう。集中治療は、高度な医療を提供する場でありながらも、人が回復する力を最大限に発揮できる場でもあります。医療者が回復力を発揮できる環境を整え、集中治療を必要とする患者さんが早期に身体の回復・心の安寧に向かえることが私達の目標です。



救急看護認定看護師：大和田 幸恵

患 者さんの急変はいつどんな時に起こるかわかりません。急変時にはどんな人でも慌ててしまうことが多いと思います。そんな急変時対応の助けとなれるよう、急変時対応の基本的な知識と共にその部署毎に必要なこと、求められていることを加えた内容となるよう心がけ勉強会を実施しています。



手術看護認定看護師：今野 雄介

手 術を受けることは患者さんやその家族にとって非日常であり、大きな侵襲や強い不安の伴う医療行為です。看護実践では、患者さんに関わる短い期間でも信頼関係を築き、安心して手術に望める環境を整え、合併症を予防することに努めています。ほかにも院内・外に向けて術前・術後のケアのポイントなどの勉強会を行っています。



脳卒中リハビリテーション看護認定看護師：白鳥玲香

脳 卒中は突然に発症し、麻痺や意識障害、失語症などを呈することが多いです。発症直後から生活期において、重篤化回避のためのモニタリングや異常の早期発見に努め、何かしらの障害があっても、その人らしく生活が送れるよう、日常生活の再構築のためのケアを多職種と連携しながら援助しています。

病院広報誌「つながり」に関する アンケート調査ご協力をお願い

当院発行の広報誌「つながり」をご覧いただきありがとうございます。より分かりやすく読みやすい誌面づくりの参考にさせていただくため、アンケートを実施しておりますので、ご協力お願いいたします。お手持ちのスマートフォンで右のQRコードを読み取ってください。ご不明な点などございましたら、下記担当までご連絡ください。

※ご記入いただきました個人情報、適切に管理し、上記目的以外には使用いたしません。

お問い合わせ

経営管理部経営企画課 電話0229-23-3311(代表)



地域の 医療機関のご紹介

Introduction local medical institutions

当院は、身近な医療機関と役割分担を図り、地域全体で切れ目のない医療を提供することを目指しています。

こちらでは、当院の登録医療機関(かかりつけ医)をご紹介します。

登米市立登米市民病院

〒987-0511

登米市迫町佐沼下田中25

TEL: 0220-22-5511

<https://www.city.tome.miyagi.jp/iryou/tomehp/>

診療科目

内科・小児科・外科・乳腺外科・整形外科
皮膚科・眼科・泌尿器科・産婦人科・耳鼻
咽喉科・放射線科・リハビリテーション科
麻酔科・ストーマ外来・人工透析内科

受付時間

【月～金】8:00～11:00

●診療科・曜日によって、受付時間が違う診療科がありますので、詳しくはホームページをご確認ください。●整形外科の初診の場合は他院からの紹介状が必要となります。

休診日

土曜日・日曜日・祝日・年末年始

※救急の場合はこの限りではありません。



地域の皆さんへ

当院は石巻・登米・気仙沼の二次医療圏にありますが、超急性期の高度医療や専門性の高い疾患については大崎市民病院との連携を密にさせて頂いております。大崎市民病院などでの治療がひと段落した患者さんにおいては、当院で継続的に診療・リハビリ・看護が可能ですので、ぜひ当院をご利用ください。また、地域の中核病院・災害拠点病院として、昨年から維持透析をよねやま診療所から移設し、透析中で入院が必要な疾患の方々を受け入れる体制を整えました。「笑顔と思いやりを持って患者さんを癒す」をモットーに病連携・病診連携を密にし二次医療圏を超えた県北医療の拡充のお手伝いをしたいと考えております。

栗原市立栗原中央病院



地域の皆さんへ

当院は栗原市の二次救急病院として「断らない救急」を目指して頑張っております。特に循環器内科は24時間365日栗原市のみならず登米市からも循環器救急疾患を受けています。令和元年度より結核病棟も運営しており、県内全ての結核患者の診療にあたっています。また4月から消化器内科、糖尿病内科の人員も増え診療の幅も広がっております。これからも皆様に安心な医療を届けられるよう努力していきたくと思っています。

〒987-2205

栗原市築館宮野中央3丁目1-1

TEL: 0228-21-5330

<http://www.kurikawa-central-hp.jp/>

診療科目

内科・循環器内科・外科・整形外科
産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・小児科
皮膚科・麻酔科・精神科・泌尿器科
放射線科・リハビリテーション科
健診センター・感染制御センター

受付時間

【月～金】8:30～15:00

●診療科・曜日によって、受付時間が違う診療科がありますので、詳しくはホームページをご確認ください。

休診日

土曜日・日曜日・祝日・年末年始

※救急の場合はこの限りではありません。

